

## 第5章 整備・活用計画

前章で掲げた基本方針（1）～（5）に基づき、整備・活用の手法についてそれぞれ述べる。なお、史跡は学校敷地内とその東側隣接地にあることから、便宜上の呼称としてそれぞれ「学校地区」、「東地区」とする。

### 1. 保存・復元

本遺跡をもっとも特徴づける「盛土」については、崩落を防止する策を講じなければならない。しかし、学校地区の一部を除き、これまで人為的・自然的要因による崩落はないことから、現状のまま維持管理することとする。学校地区における崩落箇所及び崩落の危険性がある箇所については、人の立ち入りを規制する方策を検討する。

東地区の植生については、縄文時代の原風景を体感できるような植栽管理を行うとともに、縄文時代に利用された樹種を植樹し、自然と親しみながら縄文時代の植物利用のあり方について学習できる場を設ける。

なお、近世以降に植樹されたイヌシデや希少種については、園路整備において必要最小限度の伐採や移植を行う。

また、史跡の保護と防犯上の観点から、不特定方向からの出入りを制限するための柵を設けるほか、プライバシー保護の観点において隣接する住民と協議し、方策を検討する。なお、史跡の夜間利用は想定しないことから、照明施設は設置しない。



学校地区北側の崩落防止状況

学校地区の踏み分け道



学校地区とグラウンドの境界

学校地区北側の既存園路

## 2. 展示・活用

確認・調査された遺構や出土遺物を媒介とした情報提供を、研究者のみならず広く市民に理解しやすいかたちで行う。とくに、史跡は歴史を物語る実物資料としての第一義的な価値を有しているわけであり、直接見学者の視覚に訴える資料と言える。また、出土資料は文字のない時代の生活様式を直接うかがうことができる資料であり、遺跡と不即不離の関係で歴史を物語る資料である。

こうした歴史資料を体系的に効率よく紹介する手段としてガイダンス施設が必要となる。とくに、小学校や住宅街に隣接するという特性を生かし、遺跡の時代背景や地域における史跡の歴史的位置付けを学ぶための学習の場として有効に機能すると考える。

ガイダンス施設の具体的な役割は下記のとおりであるが、施設の構造と仕様については整備検討委員会において引き続き検討していく。

- ア. 展示・・・出土資料（土器・石器・動植物遺存体）、記録写真（遺構写真・遺物出土状況写真）、模型を展示し、遺跡の理解に供する。
- イ. 体験・・・縄文時代の技術・文化を体感しながら理解することを企図して土器作りなどの体験学習を行う。  
また、本遺跡に関する講座や講演会を通じて遺跡及び縄文時代についての理解を深める。
- ウ. 学習・・・本遺跡をはじめ、市内所在の埋蔵文化財に関する図書資料を開架し、自発的な学習の用に供する。  
また、映像機器を導入して遺跡の理解を深めることとする。
- エ. 保管・・・本遺跡の発掘調査記録（図面・写真類）及び出土資料を一元的に保管・管理し、資料の借用や展示、見学の効率的な利用に供する。  
このほか、見学者が史跡を効率よく安全に見学するための園路整備を行うとともに、調査成果の説明板や休憩施設を設置する。

## 3. 調査・研究

盛土遺構の性格は未だ不明であるため、これまでに発掘調査が行われた類似遺跡との比較検討をしつつ調査方法の検討を踏まえた上で、将来的な調査の是非を検討する。

また、遺跡のさらなる内容究明のため、平成23年度から4か年計画で進めている慶應義塾大学の調査成果（第1・2次調査分）を平成26年度に公表する予定である。

なお、当時の植生や谷部の状況を把握するために平成22・23年度に実施したボーリング調査と年代測定の結果は、植生復元や将来的な調査の基礎データに供する。

## 4. 土地利用

史跡周辺は土地区画整理事業が完結し、東西に都市公園が近接していることから、公園を含めた憩いの場として保全する。なお、便益施設用地が限定されるため、イベント時には長割公園を駐車場として臨時的に使用する。

なお、周辺の神社・寺院等の散策ルート上に史跡を組み込み、観光資源として活用する。





井野っ子山公園

長割公園

## 5. 誘導

国道や鉄道の駅を基軸にした誘導計画を立て、史跡の周知と所在の明確化を図る。具体的には、史跡に面した国道296号線をはじめとする主要道路への案内板の設置、京成ユーカリが丘駅やユーカリが丘線井野駅を起点とする誘導標識の設置、既設の街区案内板や観光案内板への位置記載など、自動車利用者、歩行者が容易に視認できるものとする。

また、現状では路線バスの運行はないが、今後周辺の宅地化が進み都市計画道路が全面開通するなど、交通環境が整うことにより運行が具体化すれば、停留所の設置を積極的に求める。

このほか、市内には国立歴史民俗博物館をはじめ多くの観光施設があることから、これら市内の主要観光ルート、加賀清水公園や千手院などの地区の歴史・自然散策のルート上に史跡を位置づける。



案内板・誘導標識設置予定地現況写真



ユーカリが丘線井野駅

井野小学校北側進入路



国道 296 号線（八千代バイパス）

国道 296 号線（井野小学校正門進入口）



京成ユーカリが丘駅北口案内板

京成ユーカリが丘駅南口案内板